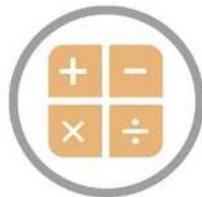


山口大学

公開講座 開放授業

2025年度前期受講生募集のご案内



目 次

公開講座受講のご案内	1
公開講座詳細	2
開放授業受講のご案内	9
開放授業詳細	1 1
アクセスマップ	1 6
公開講座・開放授業前期受講申込書	

お申込みにより取得した個人情報は、個人情報保護の観点から
厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。

- ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
- ②今後の公開講座等の案内
- ③統計情報の作成

公開講座受講のご案内

1. 公開講座とは

「公開講座」は、地域住民の皆様の知的好奇心に応え、地域社会の知的啓発に役立てることを目的に、山口大学の教員が講師となり、市民の皆様を対象に開講する講座です。

2. 申込方法等

① 受講の申込み

受付開始日 2025（令和7）年2月25日（火）9時00分

締切日 各講座の「申込締切日」欄をご確認ください。

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学 公開講座



Web申込みはこちらから▲



- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望講座名をお知らせください。
高校生以下の方は学年、山口大学学生の方は学部（所属）もお知らせください。
- 各講座の空き状況は、センターのホームページで確認できます。
- 申込みは先着順に受け付けます。
申込人数が定員に達した場合は、「キャンセル待ち」として受け付けます。

② 受講料の振込み

- 申込受付後、「受講料振込案内」を郵送しますので、振込期限までに指定口座へお振り込みください。
小学生・中学生・高校生・山口大学在学学生は、受講料が無料です。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講できません。

③ 受講案内・受講

- 講座開始の1週間前までに、連絡事項等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 講座当日は、「受講案内」に記載した会場へ直接お越しください。

3. 留意事項

- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。
受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。
受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 小学生が受講する場合は、保護者1名の同伴が必要です。
内容によって保護者の方も受講申込みが必要な講座や、中学生であっても保護者同伴が必要となる講座があります。各講座の「定員・条件」欄をご確認ください。
託児所はありません。乳幼児を連れてのご参加はご遠慮ください。
- 講座開講1ヶ月前時点で、最少開講人数5名に満たない場合は、講座の開講を中止します。
既に振り込まれた受講料は、返還します。
- 気象状況、感染症の拡大、講師の体調不良等により、やむを得ず日程を変更する場合があります。
変更した日程での受講が難しく、当該日の受講を辞退・欠席される場合は、受講料を返還します。

1 今日から始めるグリーンライフ（前編）

対面型

講師 藤間 充（大学院創成科学研究科（農学）准教授）・高田 暁（技術専門職員）・竹田 重寿（技術専門職員）・石掛 桂士（技術専門職員）

【講座の内容】

グリーンライフという言葉から、皆さんはどのようなことを連想されますか。この講座は、これから野菜作りにチャレンジしたい方や、農作物の栽培に興味や関心のある方のための、知識や技術を基礎から学び理解するための実践的講座です。緑が身の回りにはとても幸せなことです。是非、この機会に授業とフィールド実習を通して、山口大学附属農場で実り多い野菜栽培を学びませんか。前期は教材として、主にトマトやスイカなどを取り扱う予定です。

※ 当講座の受講歴がある方は、お電話でお問合せください。なお、より多くの方に受講していただくため、昨年度（2024年度）に「今日から始めるグリーンライフ（前編）」を受講された方の申込みは、ご遠慮ください。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・野菜栽培経験の少ない初心者の方（未受講者優先）

【受講料】 6,550円（傷害保険料を含む。）

【開講日時】

4月18日(金)	10:00~12:00	実習「作物栽培の基礎技術（トマト・スイカの圃場作りと定植）」
5月16日(金)	10:00~12:00	講義「作物栽培に必要な土壌の基礎知識」
6月6日(金)	10:00~12:00	実習「たい肥作り、簡易土壌診断とその対策」
7月11日(金)	10:00~12:00	実習「夏野菜の管理・収穫、秋野菜の苗作り」

【申込締切日】 4月1日（火）

【共催】 山口市

2

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）作品を読んで、2025年秋から放送のドラマをもっと楽しみましょう

対面型

講師 藤原 まみ（国際総合科学部准教授）

【講座の内容】

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）作品を一緒に読みましょう。そして、作品について自由に話し合いませんか？文学作品は開かれたものです。「一つの正しい読み」などはありません。自分とは違う、他者の読みを共有することによって、2025年秋から始まるハーンとその妻セツのドラマをもっと楽しみましょう。

※ 作品を各自で入手の上、事前に読んでご受講ください。また、作品は受講の際にもご持参ください。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 15名・どなたでも

【受講料】 2,800円

【開講日時】

4月21日(月)	15:00~16:10	『ふりそで』を読む
5月19日(月)	15:00~16:10	『幽霊滝の話』を読む
6月23日(月)	15:00~16:10	『茶碗の中』を読む

【申込締切日】 4月3日（木）

【共催】 山口市

講師 早坂 大輔（共同獣医学部教授）

【講座の内容】

身近に聞いたことのある人の感染症や、ペットなどの動物から感染する病気、生産動物（家畜）で問題となる感染症について、その原因となる病原体や、予防、治療法をわかりやすく解説します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・どなたでも（高校生以上）

【受講料】 8,000円

【開講日時】

4月27日(日)	16:00~18:00	病原体とは：病原体となるウイルス、細菌、寄生虫等とはどういうものかについて学びましょう
5月11日(日)	16:00~18:00	身近な感染症：麻疹（はしか）や水痘（みずぼうそう）・帯状疱疹など、聞いたことのある身近な人の感染症について学びましょう
6月1日(日)	16:00~18:00	人獣共通感染症：SFTS やねこひっかき病など、ペットをはじめとした動物から感染する病気について学びましょう
7月6日(日)	16:00~18:00	動物の感染症：トリインフルエンザや豚熱など、動物で問題となる感染症について学びましょう
8月3日(日)	16:00~18:00	山口大学の研究紹介：我々が行っている国内外の感染症を対象とした研究を紹介します

【申込締切日】 4月10日（木）

【共催】 山口市

講師 田畑 直彦（埋蔵文化財資料館助教）

【講座の内容】

北村弥一郎は明治～大正時代に活躍した窯業技術者です。北村は大正2・3年に防府市の佐野焼、堀越焼・末田焼を含めた山口県の窯業の調査を行いました。北村は現地で窯を計測し、生産コストなどについて聞き取り調査を行うなど詳細な記録を残しており、その学術的価値はきわめて高いと言えます。しかし、山口県内において、北村の著作は県史や市史をはじめ、近年まで引用されることはほとんどありませんでした。

この講座では、北村弥一郎の調査と、担当講師が考古学的観点から調査を行った佐野焼、堀越焼・末田焼の製品や製作技術について紹介します。防府市の焼物の歴史とその特徴について学んでみませんか。

【開講場所】 笑顔満開通り ルルサス防府（ルルサス文化センター交流室1）
（山口県防府市栄町1丁目5-1）

【定員・条件】 30名・どなたでも

【受講料】 2,400円

【開講日時】

6月7日(土)	13:30~15:00	概要説明、佐野焼について
7月5日(土)	13:30~15:00	堀越焼・末田焼について

【申込締切日】 5月21日（水）

【共催】 防府市教育委員会

講師 南雲 泰輔 (人文学部准教授)

【講座の内容】

ラテン語は、古代ローマ人によって使用された言語です。この講座では、ラテン語の格言 Festina lente (ゆっくり急げ) に従い、田中利光『ラテン語初歩 改訂版』(岩波書店、2002年)をテキストとして、ローマ帝国の歴史や文化にも言及しつつ、初級文法を基本からゆっくりと学んでいきます。今年度のラテン語初級文法講座 II では、テキストの第 XII 課から第 XIX 課までの 8 課分を扱います。テキストは、講座初回までに各自で入手の上、毎回持参してください。この講座から初めて受講される方は、テキスト第 XI 課までを独習済みであることが必要です。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 20名・ラテン語初級文法講座 I を受講済みの方又はテキスト第 XI 課までを独習済みの方

【受講料】 6,400円

【開講日時】

6月11日(水)	11:00~12:00	テキスト第 I~XI 課の復習、第 XII 課
6月18日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XIII 課
6月25日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XIV 課
7月2日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XV 課
7月9日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XVI 課
7月16日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XVII 課
7月23日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XVIII 課
7月30日(水)	11:00~12:00	テキスト第 XIX 課

【申込締切日】 5月22日(木)

【共催】 山口市

講師 山本 冴里 (国際総合科学部准教授)

【講座の内容】

「英語だけで精一杯、他の言語なんてとんでもない!」と思いませんか?この講座では、旅行中でも、誰かからもらったお土産をきっかけにしても、学んだことのない言語に対してどのようにアプローチし、どのように解読していいのかを、マレー語の絵本やセルビア語のカフェのメニューなどを題材に、体験的に学びます。マレー語もセルビア語もまったく知らないという方、ぜひどうぞ。

※ 開講日時・申込締切日については、3月末までに決定し、センターHPでお知らせする予定です。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 30名・中学校卒業程度以上の方 (マレー語、セルビア語に初めて触れる方)

【受講料】 2,000円

【開講日時】

未定	未定	
----	----	--

【申込締切日】 未定

【共催】 山口市

講師 湯浅 修一（教育・学生支援機構准教授（特命））

【講座の内容】

DXは、私たちの身近にあるパソコンやスマホなどのデジタル技術とたくさんのデータを使って、社会や生活に大きな変化をもたらし、新たな価値を生み出す取り組みです。

この講座は、DXの背景、概念、重要性などを理解した上で、DXの取り組み事例を知り、そこではどのようにデジタル技術やデータが活用され、新しい価値の創出につながっているのかを学ぶ、初学者向けの内容になっています。デジタル技術に詳しくない方のご参加も歓迎します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・社会人（会社員、公務員、自営業等）

【受講料】 4,800円

【開講日時】

7月23日(水)	18:30~20:00	DXとは何か、今なぜDXなのか、DXの定義と取り組み事例
8月6日(水)	18:30~20:00	データドリブン（データ駆動）経営
8月27日(水)	18:30~20:00	DXとイノベーション（ケーススタディ）
9月10日(水)	18:30~20:00	これからのDX

【申込締切日】 7月3日（木）

【共催】 山口市

講師 南雲 泰輔（人文学部准教授）

【講座の内容】

「すべての道はローマに通ず」という格言で知られるように、古代ローマ帝国には、インフラとしてあたかも血管のように帝国全域に街道が敷設され、政治・軍事・経済・社会・文化の諸側面において多大な機能を果たしていました。

この講座では、そうしたローマ街道ネットワークの嚆矢として紀元前312年に監察官アッピウス・クラウディウス・カエクスによって建設され、「街道の女王」と呼ばれたアッピア街道の歴史について、講師による研究を踏まえてお話しします。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 40名・どなたでも

【受講料】 1,200円

【開講日時】

8月5日(火)	13:00~14:30	アッピア街道の歴史についてお話しします。
---------	-------------	----------------------

【申込締切日】 7月17日（木）

【共催】 山口市

講師 伊東 達也（人文学部准教授）

【講座の内容】

日本の図書館は、学校と「主伴ノ関係」なのか。明治初期に欧米から輸入されたパブリック・ライブラリーという思想と制度が、どのような過程を経て日本の社会に受け入れられ、現在の図書館になっていったのか、それを明らかにするために、近世以来の「学校」の変化と、その時々の読書施設との影響関係を探ります。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 30名・どなたでも

【受講料】 1,200円

【開講日時】

8月22日(金)	10:00~11:30	講義
----------	-------------	----

【申込締切日】 8月5日（火）

【共催】 山口市

10 ヒトと動物の栄養学

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

【講座の内容】

自然界には、植物・動物・菌の三つの生物群があり、有機的な相互関係によって生物社会が構成され、地球規模で壮大な物質循環を行う地球生態系というシステムを発達させました。

この講座では、ヒトと様々な動物取り上げ、独自の栄養吸収法と、それにとまなう生理などを学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 10名・大学卒業程度で、動物の飼育に興味のある方

【受講料】 4,800円

【開講日時】

8月23日(土)	9:00~12:00	栄養素、消化、吸収の基本
	13:00~16:00	ヒトと草食動物と肉食動物の相違点と共通点

【申込締切日】 8月6日（水）

【共催】 山口市

講師 赤壁 善彦（大学院創成科学研究科（農学）教授）・松井 健二（大学院創成科学研究科（農学）教授）・
肥塚 崇男（大学院創成科学研究科（農学）准教授）

【講座の内容】

人をはじめとする生物は、「香り」を巧みに利用しています。例えば、植物や菌類は香りによる生き残り戦略、昆虫や動物は香りによる会話と伝達、人は生活の中での香りの有効活用などです。

この講座では、前半に「香り」に関する最新の話題を各講師がそれぞれの研究の立場から紹介・解説し、後半に香りを実際に嗅ぐ体験学習を対話形式で進めていきます。香りの不思議について楽しく学び、香りの自分流活用法を発見してみませんか。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・どなたでも

【受講料】 6,400円

【開講日時】

8月26日(火)	13:00~15:00	菌の匂い香りを作り出す植物の力
9月2日(火)	13:00~15:00	生物たちの会話：植物の匂い、菌の匂い
9月9日(火)	13:00~15:00	暮らしと香り①（体験学習）
9月16日(火)	13:00~15:00	暮らしと香り②（体験学習）

【申込締切日】 8月6日（水）

【共催】 山口市



（次頁に続く）

講師 藤澤 健太（時間学研究所教授）・新沼 浩太郎（大学院創成科学研究科（理学）教授）・
元木 業人（大学院創成科学研究科（理学）准教授）・酒見 はる香（大学院創成科学研究科（理学）助教）

【講座の内容】

山口市仁保中郷には、世界的に見ても大口径の 34m と 32m の大きさの電波望遠鏡（パラボラアンテナ）があります。これらは、元は通信用だったアンテナを山口大学の研究グループが改造して電波望遠鏡としたものです。

宇宙にある様々な天体が電波を出しています。山口大学のグループは、ガスが集まって星が誕生するとき、ブラックホールがジェットを噴出するとき、そして星が爆発するときなどに放射される電波の観測を行っています。

また、山口の電波望遠鏡を単独で使うだけでなく、東アジア各国の 10 台以上の電波望遠鏡とともに同時に観測を行う「東アジア VLBI 観測網」という観測体制を作り、国際共同研究を行っています。東アジア VLBI 観測網を使うことで、単独の電波望遠鏡では見ることができないブラックホールのすぐそばで起きる現象の研究などが可能になります。

この講座では、電波の観測により分かった宇宙の姿についてご紹介します。

【開講場所】 KDDI 維新ホール

（山口県山口市小郡令和 1 丁目 1 - 1）

【定員・条件】 36 名・どなたでも

【受講料】 4,000 円

【開講日時】

5 月 10 日(土)	13:30~14:45	講義
	14:55~16:10	講義
5 月 31 日(土)	13:30~14:30	講義
	14:40~15:40	講義
	15:40~16:10	講義

【申込締切日】 4 月 23 日（水）

【共催】 山口市

開放授業受講のご案内

1. 開放授業とは

「開放授業」は、山口大学が開設する学生向けの正規の授業科目を地域住民の皆様には開放している事業です。学生たちとともに同じ教室で山口大学の授業に触れることができます。

2. 申込方法等

① 受講の申込み

受付開始日 2025（令和7）年2月25日（火）9時00分

締切日 2025（令和7）年3月12日（水）17時00分

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学 開放授業

Web申込みはこちらから▲



- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望授業科目名をお知らせください。

② 受講の決定

- 受講が決定した方には、2025（令和7）年3月下旬までに受講決定通知を郵送します。
- 申込人数が定員を超えた場合は抽選を行い、抽選結果は郵送でお知らせします。
受講生の決定は先着順ではありません。
抽選結果に関する個別のお問合せにはお答えできません。

③ 受講料の振込み

- 受講決定通知に記載している振込期限までに指定口座へお振り込みください。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講できません。
開講曜日・時間が「未定」となっている授業は、受講決定通知郵送時に日程をお知らせします。
確定した日程での受講が難しく、受講を辞退される場合は、お振込前にセンターまでご連絡ください。

④ 受講案内・受講

- 授業開始の1週間前を目途に、連絡事項やシラバス等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 授業当日は、「受講案内」に記載した教室に直接お越しください。

3. 開設期間

前期	2025（令和7）年4月9日（水）	～	2025（令和7）年8月5日（火）
前期前半	2025（令和7）年4月9日（水）	～	2025（令和7）年6月8日（日）
前期後半	2025（令和7）年6月9日（月）	～	2025（令和7）年8月5日（火）

4. 難 易 度

開放授業選択の際の目安として、授業ごとに難易度を4段階で示しています。

- A 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とする授業（大学1年生程度）
- B やや高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学2、3年生程度）
- C 高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学3、4年生程度）
- D 学部卒業程度の内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされており、更に独自の研究テーマがはっきりしていることを前提とする授業（大学院生程度）

5. 留 意 事 項

- 入学試験に合格する程度の学力を持つ「高等学校卒業以上の年齢」を対象とした内容となっているため、高校生及び高校生に相当する年齢以下の方は受講できません。
- 開放授業の受講をもって単位の認定は行いません。
- 授業時間内での学習を原則とし、授業時間外の質疑等には応じかねる場合があります。
- 対面で実施予定ですが、感染症拡大時にはオンライン又はオンデマンドで授業を実施する可能性があります。 オンライン又はオンデマンドとなった場合でも受講可能な方のみお申し込みください。
授業によっては、山口大学の講義支援システム（Moodle）や遠隔会議システム（GoogleMeet等）を使用することがあります。

※オンライン・オンデマンドでの受講又は講義支援システム等の利用時の受講生の要件

1. 自宅等にインターネット環境が整っていて（データ通信量無制限が望ましい。）、電子メールの送受信ができること
2. インターネットに接続して使用できるパソコンやタブレット端末（スマートフォンは推奨しない。）があること
3. パソコンの基本操作（文字入力、添付ファイルのダウンロード、インターネット検索等）ができること

- 正規の授業科目のスケジュール上、このパンフレット作成時に開講曜日・時間が未確定の授業科目については、「未定」と記載しています。開講曜日・時間が決定次第、センターホームページ上にある各授業科目の「授業の詳しい内容」ページを更新します。
- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。
受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。
受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 本学学生の履修登録がなく、授業自体が開講されなくなった場合は、開放授業を実施しません。
この場合、受講料は返還します。
- 授業担当教員の都合等により、休講及び教室変更となる場合があります。授業担当教員から授業時間内に連絡ができなかった場合や気象状況の悪化により急遽休講となる場合は、センターから個別に連絡します。
- 試験実施に伴い、授業計画に変更が生じる可能性があります。

講師 西尾 建（経済学部教授）

経済学部専門科目（難易度A）

【 内 容 】 ※全 15 回のうち講師設定の 3 回のみ開放します

「観光マーケティング論」のうち、スポーツ観光に関する授業を開放します。山口県の豊富な自然資源やスポーツ施設などのインフラを活かし、地域に幸せをもたらす価値を創造するという視点から、スポーツ観光の基礎を学んだ後、ビジネスプランを実際に作成していきます。格差なく参加できるユニバーサルツーリズムについても学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 10名

【受講条件】 エクセル、ワードなどが使えるデバイス端末（ラップトップなど）を持参可能であること。

【受講料】 1,800円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

『持続的なスポーツ観光』を授業内で配布します。

2 動物栄養生理学

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

農学部専門科目（難易度B）

【 内 容 】

自然界には、植物・動物・菌の三つの生物群があり、有機的な相互関係によって生物社会が構成され、地球規模で壮大な物質循環を行う地球生態系というシステムを発達させました。

この授業では、様々な動物を取り上げ、独自の栄養吸収法と、それに伴う生理や生態などを学びます。反芻動物をはじめとする草食動物、野生動物も含む単胃動物を取り上げ、独自の栄養吸収法と、それにとまなう生理生態など巧妙な生体の仕組みを習得します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 9,000円

【開講日時】 火曜日 10時30分～12時00分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

講師 山下 大喜（教育学部講師）

教育学部専門科目（難易度B）

【 内 容 】

この授業では、次の3点を学習目標としています。

- (1) 日本と諸外国で蓄積された授業づくりの原理と方法論をもとに、現行の学習指導要領を特徴づける教育方法論のキーワードを理解する。【知識・理解】
- (2) テキスト演習をもとに創造的な授業づくりの構築に必要な原理と方法論を身につける。【思考・判断・表現】
- (3) (1)、(2)をもとに、教育実践にかかわる研究開発力を獲得し、創造的な授業づくりの在り方を発信することができることを目指す。【学びへの主体性】

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 教育実践に関心があり、授業づくりの原理について興味・関心がある方。

【受講料】 4,500円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『新しい時代の教育方法（第3版）』田中耕治・鶴田清司・橋本美保・藤村宣之/著（有斐閣）

授業内の配布資料で参考図書を示します。

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

共同獣医学部専門科目（難易度B）

【 内 容 】

まず、動物に必要な栄養素、動物が飼料を消化し栄養素を吸収する原理、主要な動物の消化器官の特徴等について学んだ後、吸収した栄養素を利用・代謝し、エネルギーを作り、健康な生存のために利用する原理について学びます。次のステップとして、人間が動物のために与えるべき栄養量の算出方法、健康に生きるためにバランス良く栄養を給与するための飼料設計法、栄養状態等に関わる血中成分等の情報を基にした、動物の健康状態の判定や栄養管理の改善等に結びつける方法である代謝プロファイルテストについて学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 3名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

講師 森 朋也（教育学部准教授）

共通教育科目（難易度A）

【 内 容 】

この授業では、市場のメカニズム、社会的分業拡大の下での労働力、市場経済と自然環境、市場経済と信用等について学び、地域社会が市場経済の拡大の中で、どのような変容を遂げているかを考えます。そのうえで、地域社会の持続可能性について考えていきます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 特になし。経済の専門用語が度々ありますが、それらの用語に関して抵抗がなく、また自主的に調べることができることが望ましい。

【受講料】 4,500円

【開講日時】 月曜日 13時00分～14時30分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

共同獣医学部専門科目（難易度B）

【 内 容 】

哺乳動物の一種として出現した人類は、地球上の様々な地域に移動して住処（すみか）を拡大し、大部分は定住生活を営むようになり、自己の生存及び種の保存という目的を達成するために、野生動物のうちの一部の動物の飼育を開始し、それら動物の持つ粗飼料等の消化利用能力、繁殖能力及び運動能力並びに肉、乳、卵、皮等の産物を利用するようになりました。そして、動物の能力を改変し、飼育管理の方法を改良・発展させ、産業としての効率を向上させ、その経営体を専門化・大規模化させ、産物の販売先を自分の住処の周辺から他国にまで拡大させました。以上の過程には、食の安定供給という正の側面と共に、新たに多くの問題を抱え込むという負の側面があります。

この授業では、世界と日本の動物生産の歴史、現状の国際比較、今後の動向、重要な動物種と品種、育種理論、遺伝資源と繁殖、産肉・産乳・産卵のための生体機構、飼育、施設、問題点、環境と資源循環等について学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 3名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

講師 川崎 勝（国際総合科学部教授）

国際総合科学部専門科目（難易度A）

【 内 容 】

「現代社会はグローバル化している」とよく言われますが、それまで緩やかにつながっていた諸地域世界が本格的に一体化し始めたのは16世紀からです。この一体化の捉え方には様々なアプローチがあり得ますが、この授業では主に「近代世界システム論」という考え方（例えば『イギリスは、工業化されたが、インドはされなかった』ではなく、『イギリスが工業化したために、その影響を受けたインドは容易に工業化できなくなった』）について学び、我々が当たり前と思っている「グローバル化」の背景と問題点を探っていきます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 10名

【受講条件】 高校世界史の入門レベルの知識を有していること。

【受講料】 4,500円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『世界システム論講義：ヨーロッパと近代世界（ちくま学芸文庫）』川北稔／著（筑摩書房）

講義支援システム（Moodle）を使用します。

講師 山本 冴里（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度A）

【 内 容 】

この授業では、世界中の様々な事例や具体的な自律学習の方法と考え方を提示しながら、第二言語の習得が個人や社会にとってどのような意味があるかということを中心に講義します。受講生が、言語の社会性について意識し、多様な言語を尊重する態度を育むとともに、外語を自律的に学ぶ力を身につけることを主たる目的としています。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 自宅で日常的にインターネットを使える環境にあること。

【受講料】 4,500円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『複数の言語で生きて死ぬ』山本冴里／編著（くろしお出版）

講義支援システム（Moodle）を使用します。

アクセスマップ

1. 山口市吉田キャンパス 〒753-8511 山口市吉田 1677-1
 KDDI 維新ホール 〒754-0041 山口市小郡令和1丁目1-1



山口市吉田キャンパス

JR

新山口駅から車で25分
 湯田温泉駅から徒歩25分

バス

山口大学前バス停から徒歩3分

KDDI 維新ホール

JR

新山口駅下車、北口直結

自動車

中国自動車道小郡 JCT 経由、
 山口宇部道路長谷 IC から約1分

2. 笑顔満開通り ルルサス防府 〒747-0035 防府市栄町1丁目5-1

JR

防府駅下車、徒歩5分

自動車

下関方面から
 山陽道防府西 IC より約7分

周南方面から
 山陽道防府東 IC より約7分

2025(令和7)年度山口大学公開講座・開放授業前期受講申込書

申込開始日時 2025(令和7)年2月25日(火)9時00分

申込開始日時より前に届いた申込書の受付は行いません

申込者情報		申込日	R7年 月 日
ふりがな		年代	歳代
氏名			
		性別	男・女
住所	〒 -		
電話番号	※平日に連絡が取りやすい番号をご記入ください		
メールアドレス	@		
備考	※高校生以下の方は学年 ※山口大学学生は所属		

希望講座・授業科目情報

公開・開放の別	講座・授業番号	講座名・授業科目名	備考
公開・開放			
計			講座・授業

- ▶ 太枠内に必要事項をボールペンでご記入の上、FAX 又は郵送で地域未来創生センターまでお申込みください。
- ▶ お申込みにより取得した個人情報は、個人情報保護の観点から厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。
 - ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
 - ②今後の公開講座等の案内
 - ③統計情報の作成

山口大学地域未来創生センター

〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL083-933-5059 FAX083-933-5029
[受付時間] 9:00~17:00 (平日)

大学側記入欄	
登録	受付
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

お申込み・お問合せ先

山口大学地域未来創生センター

〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

TEL 083 - 933 - 5059

FAX 083 - 933 - 5029

受付時間 9 : 00~17 : 00 (平日)

